

研究課題名	胃静脈瘤に対するB-RTOにおける 後方視的研究 (B-RTO：バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術)
研究の意義・目的	B-RTOを受けた患者さんが対象で、術前の背景（年齢や疾患、肝機能等）や、術中の手技所見や使用した硬化剤や塞栓物質の種類によって、手技的成功率、臨床的成功率、合併症、術後再発の有無などがどう変わるかどうかについて検討を行います。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年1月～2021年4月に大阪市立大学医学部附属病院の放射線科で、胃静脈瘤の治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、現病歴、検査データ、CT画像、内視鏡画像】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院放射線科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院放射線科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 研究責任者 城後 篤志
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 (担当者氏名) 城後 篤志 電話番号：(06) 6645-3831 メールアドレス：ocuradiology1@gmail.com